

## 〈まとめ〉

『オレンジ式コードパターン即興技法』の特長・注意を要す点につき記してみたいと思います。

### 〈特長〉

- ① 提供者にとって高度な音楽的技術を必要とせず、ある程度簡単にできる
- ② 適応が広い（対象者の音楽的レベルを幅広くフォロー）
- ③ 音楽として分かりやすい⇒枠（循環コードの進行における明確な調性・リズム性）があるなかでの成功を得やすい
- ④ 創造的かつ音楽的、また発達支援的であり、音楽的感性の促進につながる
- ⑤ 情緒を刺激しやすい（コード進行とリズム・テンポの持つ雰囲気です・明・暗・切ない・激しい、など対象者の気分に合わせてやすく柔軟性が高い）
- ⑥ （音楽提供者の工夫により）繰り返しに耐えうると同時に飽きさせない
- ⑦ 非言語的かつ双方向性のコミュニケーションを刺激する（「あ～、続く感じ、あっそろそろ終わるかな」などが音楽の中で共有できる）
- ⑧ 個人・集団（10人ぐらいまで）ともにフォローできる

### 〈注意を要す点〉

- ① 初期段階では、“何をやっているのだろうか？”と対象者に緊張をもたせやすいので、わかりやすいパターンでの導入が望ましい
- ② 提供者と対象者との心理的距離に伴い音楽自体のノリが良かったり悪かったりする。たまに失敗しても次回へどう繋げるか、への配慮が必要
- ③ “コード音楽”という点では、中庸の深まり、リズムや集団性などを利用しつつ、音楽の振幅（ダイナミクス）を高める必要あり

### 【参考文献】

- 小泉文夫：日本の音．平凡社、1994
- 小泉文夫：歌謡曲の構造．平凡社、1996
- 小島美子：日本童謡音楽史．第一書房、2004
- 小森 優：坂本龍一の作曲技法．リットーミュージック、2002
- 斉藤 修：なんちゃってジャズ・ピアノ．リットーミュージック、2003
- 斉藤 修：なんちゃってジャズ・ピアノ（らくらく実践編）．リットーミュージック、2004
- 佐藤史朗：かんたん入門ジャズ・ピアノ奏法．シンコーミュージック、1996
- 篠田元一：実践コードワーク．リットーミュージック、2005
- 鈴木賢治：ジャズギター・コードワークの秘密．シンコーミュージックエンタテイメント、2004
- 山下邦彦：ビートルズの作り方．太田出版、1994
- 山下邦彦：Mr.Children Everything．太田出版、1996
- 山下邦彦：楢円とガイコツー小室哲哉の自意識×坂本龍一の無意識ー．太田出版、2000
- 山下邦彦：甦れ、ユーミン！．太田出版、2003